

教科・科目	理科・地学基礎	単位数	2単位	学年・学級	3年必修
使用教科書	高等学校 改訂地学基礎（第一学習社）	副教材	改訂 ネオパルノート地学基礎（第一学習社）		

学校教育目標		郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を持ち続けよう								
育成を目指す資質・能力		傾　聴　力			協　働　力		○	議　論　する　力		◎
		自　省　力			理　解　力		◎	批　判　力		
		自　己　実　現　力			表　現　力		○	情　報　活　用　力		◎
学習の到達目標		・日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。 ・目的意識をもって観察、実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育む。 ・地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。								
評価の観点										
	①関心・意欲・態度		②思考・判断・表現		③技能			④知識・理解		
A 使える	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付け、応用しようとしている。		地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に仮説を設定し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを見通しをもって行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。			地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、応用的知識も身に付けている。		
B わかる	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。		地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。			地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		
C できる	地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。		地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象について探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、表現している。		地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を記録する技能を身に付けている。			地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則をおおむね理解し、知識を身に付けている。		
D	A、B、C いずれにも該当しない。		A、B、C いずれにも該当しない。		A、B、C いずれにも該当しない。			A、B、C いずれにも該当しない。		
具体的改善策	・授業において、主体的な課題への取り組みや WS への適切な記述		・授業 WS や実験 WS の的確な記述 ・考查の思考・判断・表現分野の得点 UP ・テスト前補習		・授業毎の課題での得点 UP や WS の適切な記述 ・考查の技能分野の得点 UP ・実験 WS の適切な記述			・授業毎の課題での得点 UP や WS の適切な記述 ・各小テスト得点 UP ・考查の知識理解分野の得点 UP ・再小テスト、テスト前補習		
評価基準	関心・意欲・態度 (10点) A: 8点 ～ 10点 B: 4点 ～ 7点 C: 1点 ～ 3点		思考・判断・表現 (30点) A: 21点 ～ 30点 B: 11点 ～ 20点 C: 1点 ～ 10点		技能 (30点) A: 21点 ～ 30点 B: 11点 ～ 20点 C: 1点 ～ 10点			知識・理解 (30点) A: 21点 ～ 30点 B: 11点 ～ 20点 C: 1点 ～ 10点		
	何で評価するか ・授業ごとの課題 (WS) ・授業毎の振り返り ・単元毎の振り返り		何で評価するか ・定期考查 ・授業ごとの課題 (WS) ・実験 WS		何で評価するか ・定期考查 ・授業ごとの課題 (WS) ・実験 WS			何で評価するか ・定期考查 ・小テスト ・授業ごとの課題 (WS)		

【学習計画】

月	単元	学習の目標と【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	第1章 宇宙における地球	❖前期の目標		
	1節 宇宙の構成	・宇宙のはじまり、宇宙の膨張、宇宙の終焉を体系的にとらえスケールを把握することができる。【④：WS】		

4. 学習計画

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	2 節 太陽	・現在の地球と宇宙の誕生について関連づけることができる。【②：WS】		
5	3 節 太陽系の中の地球	・太陽系のはじまりを宇宙の基本法則に基づいて説明することができる。【②、④:WS、小テスト】		
6	【前期中間考査】	・太陽系の成り立ちや地球の成り立ちを科学の法則から論理的に解釈し、時系列を整理することができる。【②、③:小テスト、WS】		
		🔄 振り返り【②～④:定期考査】【①：すべての授業】		
7	第2章 活動する地球 1 節 地球の姿	・太陽系の惑星の構成や特徴などを調べてまとめ、発表することができる。【②、③:ポスター、発表】		
8	2 節 火山活動と地震	・地球の内部構造を踏まえ、地球上で起こる地学現象をプルームやプレートの動きと関連づけて理解し、説明することができる。【②、④:小テスト、WS】		
9	【前期期末考査】	・火山の構造や地震の仕組みと災害を関連づけることができる。【④：WS】		
		・火山災害のメカニズムを理解し、火山災害の防災、減災方法について、考察することができる。【②、③：実験レポート、WS、発表】		
		・地震発生メカニズムをプレートの運動と関連づけて理解し、地震災害の防災、減災方法について考察したことを的確に表現することができる。【②、④：WS、発表】		
		🔄 振り返り【②～④:定期考査】【①：すべての授業】		
10	第3章 移り変わる地球 1 節 地層や岩石と地質構造	🔄 後期の目標		
11	2 節 地球環境と生物界の変遷	・地層や岩石の様子から、岩石をスケッチし、地球上におきた変動を推測することができる。【②：WS】		
	第4章 大気と海洋	・地球環境の変遷と生物の変遷を関連付けて整理し、進化と大量絶滅のタイムスケールを理解し、変遷を考察することができる。【②、④:小テスト、WS】		
	1 節 地球の熱収支	・地球誕生から現在までの大気組成と気温変化及び生物の変遷を中心に考察し、地球規模の環境問題について探究することができる。【②～④：WS】		
	2 節 大気と海洋の運動	・大気の循環と気象現象との関係性について理解し、説明することができる。【②、④:小テスト、WS】		
	【後期中間考査】	🔄 振り返り【②～④:定期考査】【①：すべての授業】		
12	第5章 地球の環境	・地球環境について、地球規模で起きている変異について理解し、身のまわりの現象と結びつけて考察することができる。【②、④:WS】		
1	1 節 地球環境の科学	・日本の自然環境の変動について、現在の実社会で問題となっていることを題材に挙げ討論し、導き出した答えを的確に表現できる。【②、③:WS、発表】		
	2 節 日本の自然環境	🔄 振り返り【②～④:定期考査】【①：すべての授業】		
	【学年末考査】			

🔄 最終評価（自己評価／実際評価）

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解